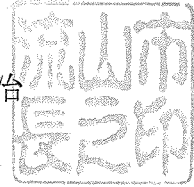


流 道 建 第 52 号
平成20年10月10日

国土交通省道路局長 様

流山市長 井崎 義治



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）
平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のあったこのことについて、別紙のとおり回答します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般についての改善すべき点、要望や提案など

千葉県流山市

- 1 人、クルマとも通行量の多い都市部が、地方部と比較して相対的に道路整備が不足しており、渋滞の解消の進展が遅いなど満足度が低い。
地方部における道路づくりの費用対効果は、実態よりも高く謳われているのではないか。
- 2 地域の実情・実態に即さない規格での整備が強いよう、道路構造令等の基準を柔軟化していただきたい。
- 3 平行する一般道に車両が流れて、周辺住環境に悪影響を及ぼすことのないよう、高速道路料金を社会実験後も低廉化していただきたい。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式②

千葉県流山市

○ 現状	○ 課題
首都近郊の住宅都市として、急激な増加率をみせた昭和40年代をはじめ、今日までの人口の増加により、市政施行の昭和42年時の4万2千人が、今や16万人に達しようとしている。 これまでは、人口増加に伴う小中学校等の教育施設の整備に追われ、道路・河川・下水道など都市・市街地インフラの整備が遅れ気味であったが、つくばエクスプレスの3駅を取り巻く区画整理が進行中であり、これを契機に都市・市街地インフラの整備に拍車がかかっている。	市域（3,528ha）中心部などでの600haを超えるエリアで、つくばエクスプレス沿線区画整理によって道路をはじめとする市街地基盤整備がなされていくが、それ以外の市域における大規模な市街地開発が少なかつたこともあって、市域全体としての道路ネットワーク形成に課題があり、現在は、つくばエクスプレス沿線エリアとの連携のための幹線道路の整備を重点に取り組んでいる。

今後の道路行政についての意見・提案

様式③

②-2 地域の目指すべき将来像

千葉県流山市

市域の中心部を通るつくばエクスプレスの開業により、市内の鉄道の交通のネットワークと利便性は大きく向上したが、道路についても、

- 住宅地の通り抜けを解消するための幹線道路ネットワークの構築
- 狭隘区間や事故発生の交差点などの危険箇所への解消
- 歩行者・自転車にもやさしい道路空間の形成

を目標に整備を行う。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

様式④

千葉県流山市

○ 現状	○代表事例	○ 期待する効果や評価等	○ その他
都市交通の快適性、利便性の向上	江戸川新橋（新流山橋）の早期整備	つくばエクスプレス沿線の都市軸道路の江戸川渡河橋の早期完成による渡河交通の円滑化が期待される。	既存の流山橋の渋滞の解消、長寿命化補修にも資する。